

↓女性消防団員に任命された皆さん



地域を守る女性たち

## 女性消防団員が誕生

4月2日に、敦賀美消防組合消防本部（敦賀市）で女性消防団員任命辞令交付式が行われ、美浜消防団では8人の方が任命されました。今後団員は、女性活動班として、火災予防啓発活動等の予防や広報活動を行っていく予定です。

(写真左から)

谷口篤美さん、武長加奈さん、志賀悦子さん、千田靖子さん  
大野磨由美さん、山口里美さん、松井幸さん、田邊あゆみさん



まちの話題をお知らせします。



↑秋山消防団長から辞令の交付を受ける団員

↓クワ子の田んぼ（県道日向郷市線沿い）に飛来したナベヅル



ようこそ、美浜へ

## ナベヅルが飛来

環境省のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類に分類されている渡り鳥のナベヅル1羽が、クワ子の田んぼに飛来しました。

地元住民の話では、3月26日頃から目撃されており、4月8日に日本野鳥の会の会員が成鳥ではないがナベヅルに間違いないと確認しました。

ナベヅルは、冬になると越冬のため、繁殖地のシベリアや中国北東部から鹿児島県出水市や山口県熊毛町に渡ってきます。春になり大陸に戻る際、風に流され本州に降り立つことがまれにあり、4月7日には別の個体が坂井市三国町で確認されています。

↓音楽にあわせ餅をつき、募金を呼びかけるみはま餅っこ隊



美浜町から「がんばろう日本」

## みはま餅っこ隊による募金活動

4月2日に、があでんぱあく五湖の駅で「みはま餅っこ隊」が東日本大震災で被災した宮城県南三陸町への募金を呼びかけました。

餅っこ隊のメンバーの1人には、仙台市で教員をしている友人がおり、その人の教え子たちは震災で家を失う等の被害を受けました。今回の活動は、その話を聞いた餅っこ隊が、被災した子どもたちが住む南三陸町の復興に少しでも役立てばという思いで行いました。

当日は、募金の受付にあわせて、つきたての餅のふるまいも行われ、町内外の多くの人から義援金への協力が寄せられました。

観光シーズン到来

## 三方五湖春まつり



↑梅丈岳山頂から土器投げを行う山口町長（中央）

4月2日に、観光シーズンの訪れを告げる「三方五湖春まつり」が梅丈岳山頂と美浜町レークセンターで開催されました。

美浜・若狭の両町長や観光関係者が出席した式典では、山頂で願い事が叶うといわれている「土器（かわらけ）投げ」が、湖では「黄金の鍵と花束の投湖」が行われ、1年の賑わいと安全を祈願しました。



↑決勝戦、敦賀気比高校の攻撃（結果 敦賀気比 13 - 2 美方）

夏の甲子園に向けて

## 第41回美浜・若狭両町長杯争奪高校野球大会

4月2日と3日の両日、町民広場野球場で第41回美浜・若狭両町長杯争奪高校野球大会が開催されました。

大会には、美方高校、敦賀高校、若狭高校、敦賀工業高校及び敦賀気比高校の嶺南5校が参加し、2日間にわたり熱戦が繰り広げられました。

決勝戦は、美方高校と敦賀気比高校との戦いになり、3年連続で敦賀気比高校がこの大会を制しました。

より良い生活空間の実現に向けて

## 都市計画マスタープランを答申

3月30日に、美浜町都市計画マスタープラン策定委員会（委員長・川本義海福井大学大学院准教授）が、今後20年間のまちづくりの基本方向を示すプランの策定案を山口町長に答申しました。

案には、「まちの活力を創出する多様な拠点とネットワークづくり」や「美浜の『美』を継承するまちづくり」等の4つの目標が設定されており、それに基づいた土地利用や交通体系の整備にかかる基本方針等が明記されています。

今後町では、この案を公開して町民の意見を公募し、今年度中に正式なプランを策定する予定です。



↑山口町長に策定案を提出する川本委員長（左）